

# トライシティー TRY ICT やすぎ

ICTを活用した教育で学校や教室が変わる様子をシリーズでお伝えしています。

## リモート授業で つなぐ協働学習

赤屋小学校と井尻小学校の5年生、6年生同士が昨年の9月下旬にインターネットでつながり、算数のリモート授業を行いました。

普段、小規模校の両校は、5・6年で複式での学習を進めています。この日は学年ごとに分かれた教室で、インターネットでつながったタブレット端末と電子黒板を使い、相手の学校の同学年の児童や、先生と会話しながら学習を進めました。いつもよりオーバーなアクションも使い、意思疎通を図る子どもたち。距離を感じさせない、活発な意見と笑顔がちな学習の時間となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、国(文部科学省)が推進する「GIGAスクール構想」は大きく前倒しとなりました。ICTを利用したリモート授業によって学校が



▲電子黒板を通して考えを伝え合いました。

一斉休業となった場合でも、子どもたちの学びを止めないことを目的としたものです。

市では、幾つかの小中学校で、教室と家庭をインターネットでつないだリモート学習の実証実験を令和2年度3学期に行いました。

リモート機能はICT活用の大きなメリットです。教員による新たな授業の技術向上や家庭のWi-Fi環境の整備に向けた理解など、多くの課題はあります。が、子どもたちの学びを止めないための準備を進めています。

### 問い合わせ

学校教育課 ☎23・3180



## 中海・宍道湖 ・大山圏域 市長会通信

Vol. ⑳

### 「ビジネスマッチング オンライン商談会2021」

圏域のものづくり関連企業等を対象にした山陰最大級の「ビジネスマッチング商談会」を10月28日に開催しました。

圏域内外から幅広い業種の企業163社が参加。企業間の取引拡大や連携強化を図りました。

### 「第2回ケララ・山陰 オンライン・ビジネスフォーラム」

11月16日、圏域とインド・ケララ州との更なる経済連携および両国企業のビジネス企画創出を目的に、「第2回ケララ・山陰オンライン・ビジネスフォーラム」を開催しました。

日本企業との連携を期待するインド企業からの企業紹介等が行われ、両国の行政や企業関係者約100人が参加しました。

### 「圏域キャンパス事業(東京大学フィールドワークスタディ型政策協働プログラム)」

東京大学フィールドワークスタディ型政策協働プログラムとは、地域課題解決に向けて東京大学の学生が、事前調査、現地活動、事後調査を通じて、1年をかけて解決の道筋の提案を行うものです。

今年度、「うんばく3城連携誘客について」地域連携による滞在型ツーリズムをデザイン」と題し、東京大学の学生と共に、松江城、米子城跡、月山富田城跡並びに周辺地域を巡る圏域周遊観光プランの検討をしています。このたび東京大学から5人の学生を受け入れ、フィールドワークを開催しました。



▲月山富田城跡を散策する学生たち(12月19日)。

### 問い合わせ 市長会事務局

☎0852・55・5056